

楽しく言葉の力を高める授業づくり 一言を大切に自分の考えを伝え合う学び合いを通して

小学校 国語班

担当指導主事 義務教育研究グループ 村田伸宏

●伊勢崎市立宮郷第二小学校
●太田市立太田小学校

高山規一郎教諭
小嶋 恵子教諭

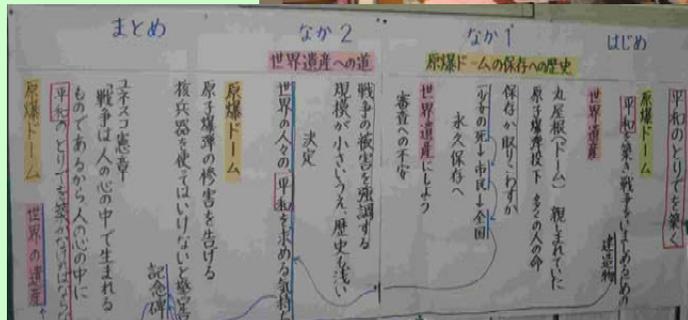
「ちいちゃんのかげおくり」
「川とノリオ」

●藤岡市立平井小学校
●大泉町立北小学校

浅見 礼子教諭 「自分の考えを発信しよう」
岡田 健児教諭 「失敗をめぐって」

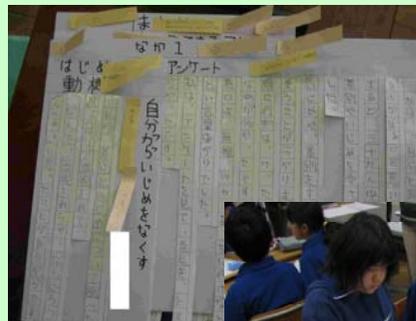
視点1 児童の実態を踏まえた題材の学習指導計画と学習指導過程は適切であったか。〈授業づくり〉

- ・ 児童の意識調査や実態アンケート、過去の学力テスト等の客観的資料による分析等を詳しく行い、把握した児童の実態を生かした学習指導計画を立て、授業に生かすことができた。
- ・ 板書の工夫、短冊や付箋紙の活用、本文掲示、モデルVTRの作成、発表ボードの利用等、児童を支援するための様々な手だてを考えたり工夫したりして、ねらいの達成に近づくことができた。
- ・ ポートフォリオや評価カード（自己・相互）を活用して、児童に成就感をもたせ意欲を高められた。



視点2 自分の考えを明確にもち、広げ深めるための学習活動は有効であったか。〈考える活動・学び合い〉

- ・ どの領域の学習においても、児童一人一人が明確に自分の考えをもつことができるような思考力の向上を心掛けて指導することができた。
- ・ ペアやグループ、一斉など、様々な形態を工夫したり、少人数での話し合いを全体での話し合いに広げたりして、その授業の内容や目的に合わせて適切な学習活動を行うことができた。
- ・ 話し合い活動では、付箋紙を利用して意見の整理をしたり、互いのノートを読み合っ意見を確認しながら話し合いを深めることができた。



視点3 深まった自分の考えを表現するための手だてとして支援は的確であったか。〈表現活動〉

- ・ ノートやワークシートに自分の考えをしっかりと書かせてから話し合いをしたり、本文を音読したりすることで、自分の考えを深め、表現につなげることができた。
- ・ 一文ごとの短冊、「推敲のポイント」の提示、ボードを使っての発表等の工夫をすることで、広まったり深まったりした自分の考えを表現することができた。
- ・ 授業の中にみとりと支援を適宜行うことで、どの児童も意欲的に授業に参加することができ、自信をもって表現活動を行うことができた。

